



和寒町表彰式

菊かおる文化の日 長年の功績たたえ

功 労 章

虻川 政義 様 (日ノ出)



十一月三日(日)文化の日に、長年の功績をたたえ本年度の功労章・功労表彰・善行表彰・ふるさと永住功労表彰・褒賞及び教育委員会文化奨励賞の町表彰式が公民館恵み野ホールで執りおこなわれました。

式には受賞者をはじめ多くの関係者が出席、受賞者の皆さんに表彰状が手渡されました。

受賞者を代表して虻川政義さんから謝辞があり厳肅のうちに町表彰式を終了しました。受賞されたかたがたは、次のとおりです。

昭和46年5月に町議会議員に初当選され、現在9期目を迎えられる、34年間にわたって地方自治の発展に貢献されています。

この間、議会議員として総務福祉常任委員長や産業教育常任委員長などの重責を務められ、現在も議会運営委員会副委員長として、常に建設的な意見を提唱され、地方自治の確立と進展のためにご尽力いただいています。

また農業委員としても現在まで20年間務められ、地域農業の発展に貢献され、この他にも国民健康保険運営協議会委員や社会教育委員兼公民館運営審議会

委員など様々な分野で数多くの要職に就かれるなど、その功績は誠に大きいものがあります。人格高潔にして識見に優れ、公正な判断力と行動力を持って事に当たるとは人柄であることから、地域住民はもとより多くのかたから信頼され、その活躍は誰もが認めるどころです。

平成2年に和寒町功労表彰、昭和62年と平成20年には全国町村議会議長会会長表彰、また農業委員としての功績が認められ平成23年に北海道農業会議会長表彰を受賞されるなど、数多くの賞を受賞されています。



功労章、功労表彰受賞者 前列左から小野寺さん、大石さん、虻川さん、白土さん、佐藤さん

大石 宰 様 (南丘)



平成3年に和寒土地改良区理事に就任されて以来、農業経営安定のための基盤整備事業にご尽力され、平成11年には理事長として土地改良区合併協議の先頭に立って奔走、平成14年のおがわ土地改良区発足当時は理事長代理として円滑な事業運営に務められました。

また統計調査員として農業基本調査や国勢調査など長年にわたって統計行政推進に多大なご努力をいただいています。

他にも数多くの要職を歴任されておりですが、剣道の有段者として、地域の子供たちを長年熱心に指導されてこられていることから、その謹厳実直で温厚な人柄は、地域はもとより多くのかたがたから信頼されています。

平成13年に和寒町功労表彰、平成16年には土地改良事業功労者表彰、平成20年には北海道産業貢献賞を受賞されています。

白土 春夫 様 (北町)



消防団員として昭和49年から今年3月に勇退されるまでの39年の長きにわたって消防防災活動に務められ、町民の財産、生命の保全に尽力されました。この間、副団長、団長をそれぞれ4年間務められ、その旺盛なる消防精神をもって幾多の災害に出勤し、幹部として、また最高責任者として冷静な判断力と的確な指示のもと、被害の軽減に努められた手腕は高く評価されています。

また交通安全指導員として平成2年から現在まで23年間、地域の子供たちの安全を見守り続けてこられるなど、やさしく誰からも慕われるお人柄は衆人の認めるどころです。

平成18年に和寒町功労表彰、平成19年に長い間の消防団活動が認められ消防庁長官表彰を受賞されています。

教育委員会文化奨励賞

丹野 喜和 様 (朝日)



平成8年11月から岳風会に入会し、会の活動に熱心に取り組み、仲間を大切にされて吟友から厚い信頼を得られています。平成19年12月に奥伝位、平成23年12月には八段位を取得され、北・北海道大会、町文化芸能発表会等にも積極的に参加されて、本町の文化振興や会の発展に寄与されています。平成16年1月からは和寒支部理事として、平成22年1月から監事としてご活躍されています。

堂前 静子 様 (松岡)

誠実で明るく、発想が豊かで社交的な性格は、誰からも親しまれ信望の厚いかたで、平成7年4月に北の雲短歌会に入会され、例会には必ず出席し、毎月

の兼題詠、自由詠の推敲に努められ、作品は日常の生活の中の話題が多く、その視点は鋭くユニモアがあり、指導の先生より推薦歌として数多く選ばれています。

平成19年4月からは短歌会の理事としてご活躍され、会議では活発な発言で会の発展に貢献されています。



高瀬 征勝 様 (南町)



行動力があり、豊かな発想の持ち主で、仲間からも慕われ信頼されており、何よりお花の心を誰よりも理解されているかたです。

毎年町民文化祭に生花を出品する傍ら、茶会にも積極的に参加されています。

30代で池坊に入門、技術を磨かれ、大胆かつ独創的な作品をつくり、常に周りに刺激を与えながら、睡会の発展に寄与され、平成11年1月から会の会長として、本町の文化振興に貢献されています。

林 隆則 様 (三笠)



誠実温厚な人柄で、常に新しい企画を取り入れる研究熱心でもあるとともに、指導力に優れた会員の信頼が厚いかたです。

昭和58年4月から和寒フオートクラブに入会し、昭和59年4月から会の理事として各種事業に参画、写真文化普及のため尽くされています。特にパソコンによる写真の高度な処理技術を駆使して優れた作品を創作して発表されるなど地域文化の発展に寄与されています。



文化奨励賞受賞者
前列左2人目から高瀬さん、丹野さん、堂前さん、林さん